

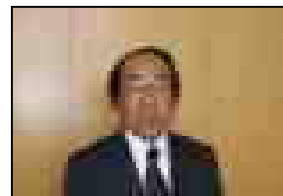
農地・水・環境保全向上対策

協議会だより 第2号（平成19年11月）

編集・発行：山口県農地・水・環境保全向上対策協議会

あいさつ

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会 副会長 弘永 芳朗
(山口県農業協同組合中央会 担い手・水田農業対策室室長)



本対策への加入組織では、すでに活動の実践にご尽力いただいていることと存じます。この対策は、水田農業の営農活動を支援し水田が持つ多面的機能を維持するためのものであり、それ故に、地域の非農業者の方々にも参加いただいて活動するゆえんです。

地域の活性化には、水田農業構造改革の取組みとあわせて本対策の取組みを通じて、水田を中心とした地域農業が元気でなければなりません。そのためには制度に定められた取組みを義務的に消化するのではなく、まさに地域の営農活動を続ける上で当然行わなくてはならない活動等に創意工夫をこらしてこの対策を上手に活用することが肝要です。

今後は、地域の将来を描いたビジョンに向かって、関係者が連携し活動することが求められています。

事務局からのお知らせ

● 活動記録についての再度のお願い

今年も早いものでもう11月、足早に秋が過ぎ直ぐに師走がやってきます。この時期に皆様に確認をお願いしたい事項があります。

春先から、施設の点検・診断・各種計画作り、実践活動が多々行われたことと思います。まず、今までの実践活動について整理しておきましょう。

第1号にも掲載していますが、農地・水・環境保全向上対策にとって下記に挙げるものが大切ですから注意してください。

- 1). 日報の整理はできていますか？
活動日ごとに書かれていますか？
- 2). 写真の整理はできていますか？
写真の写りはいいか確認してみましょう。
- 3). 参加者名簿の整理はできていますか？
日当等を交付する活動には、参加者名が必要ですね。
- 4). 金銭出納簿の整理はできていますか？
領収書はノート等に整理してありますか？
- 5). 備品台帳の整理はできていますか？
交付金で購入したデジカメ等管理できていますか？
- 6). 活動に漏れがないか、活動計画と今までの実践活動を照合してみましょう。



* 今後の活動についても、役員会等で協議し、構成員にお知らせしましょう。

裏面に支部の活動を紹介しています⇒

中田環境保全会

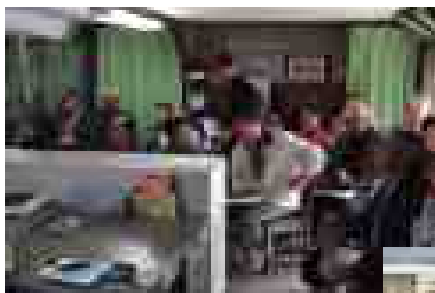
勉強会のあと、現地へ行って実際に生息状況の確認や、河タナゴやマツカサ貝の実物を観察しました。



中田環境保全会では、ほ場整備事業で生き物調査を行った結果、希少種である河タナゴとマツカサ貝が確認されたことがきっかけで、生態系保全に取り組んでいます。地元の生態に詳しい杉岡氏のご自身で作成された紙芝居風の教材で地元小学校の生徒の河タナゴとマツカサ貝の生態について教えているところです。



河原地域資源保全会



河原地域の農業発展を目指して



11月1、2日に佐賀県三日月町七島農産にて技術研修を受けました。当農産は平成17年度全国環境保全型農業推進コンクールにおいて無農薬米で受賞されました。参加者は原田代表以下18名です。

環境保全型農業とは？

編集・発行：〒753-0079 山口市糸米二丁目13-35
山口県農地・水・環境保全向上対策協議会
(tel 083-933-0755 fax 083-933-0756)

岩国支部	tel 0827-85-5041	美祢支部	tel 0837-53-0430
田布施支部	tel 0820-23-1695	下関支部	tel 0837-67-1480
周南支部	tel 0820-49-1871	長門支部	tel 0837-23-3850
山口支部	tel 083-933-0755	萩支部	tel 0838-25-7281

＜編集後記＞

毎月、各支部の状況を照会することとしました。取材に協力お願いいたします。年末に向けて皆様お忙しいこととは思いますが、風邪などひかれませんように、お体ご自愛下さい。